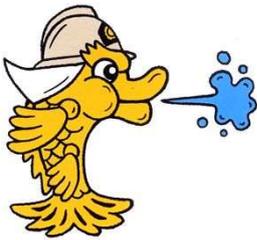


# ★ 自主防災組織について ★



令和5年度  
中川消防署



## 自主防災組織とは



各町内会・自治会で  
防災活動をする集まりを

## 自主防災組織

と言います



※**防災会**という  
言い方もあります



## 自主防災組織発足の理由

昭和34年伊勢湾台風により被害を受ける



伊勢湾台風による名古屋市の被害状況

死者	1,793名
行方不明者	58名
負傷者	40,528名



**災害対策基本法**の制定により、自主防災組織の充実

## 災害対策基本法（関連部分抜粋）

第5条第2項（第2条の2第1項第2号を含む抜粋）

**市町村長**は、当該市町村の区域内の公共的団体等の防災に関する組織及び住民の隣保協同の精神に基づく**自発的な防災組織(自主防災組織)**の**充実**を図り、市町村の有するすべての機能を十分に発揮するように努めなければならない。

**防災会長**は  
**自主防災組織のリーダー**  
です。



なぜ  
自主防災組織が  
必要なのか



消防車が到着できません！

火災



倒壊



渋滞



崩落

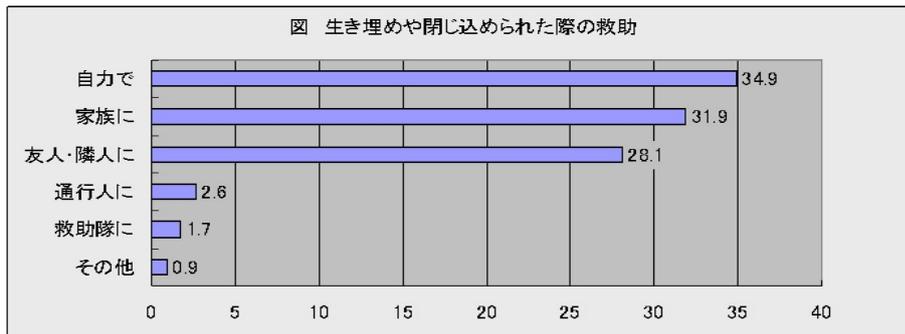


## ○阪神淡路大震災における救助・救護活動の実態

地震で生き埋めになったり、建物・家具に閉じ込められた方のうち、**自力で脱出した方と、家族や友人、隣人等に救助してもらった割合は約98%**に及びます。

一方で**公助（消防、警察など）に助けられたのはわずか1.7%**です。

これは、要救助者数や交通支障により、公助が現場に到着できず、隣近所など被災者同士で助け合わなければならない状況であったことをあらわしています。このように、大規模地震災害時には公助には限界があり、**自助・共助の取り組みが命が助かる上で、最も重要であることがわかります。**



## 長野県神城断層地震（長野県北部地震）

▶ 2014年11月22日 22:37

▶ マグニチュード 6.7

▶ 最大震度 6 弱

中川区では  
八熊・篠原  
昭和橋・戸田  
学区が約  
10000人

▶ 長野県白馬村

▶ 人口9,200人

▶ 全壊42棟

堀之内地区→

(平成26年12月15日撮影)



## 何が有効に機能したのか？

- ▶ 地域での共同作業、ごみ出し、お祭りなどが活発な地域
- ▶ 災害が発生すると組長が地域の安否を確認して町内会長に伝える仕組み
- ▶ 平時から災害に備えた体制をつくっていた
  - ・ 消防団「震災時の活動マニュアル」
  - ・ 自主防災組織「災害時住民支え合いマップ」



## 連携して助け合うことが重要

- 南海トラフ巨大地震が懸念されている
- 地域の課題を事前に把握する必要がある



「日頃から地域でどのような準備をすればいいの？」

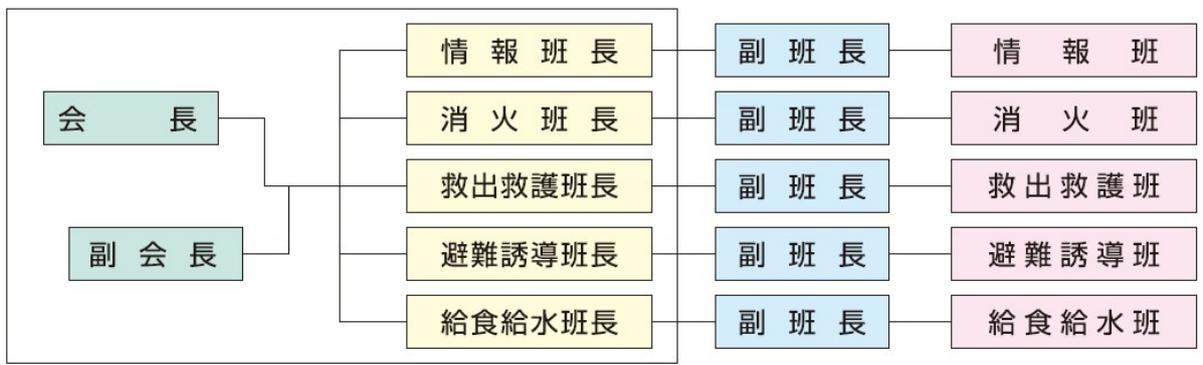
「災害時に地域でどのような行動をとればいいの？」など

自主防災組織が整備されていれば

大規模災害時に被害を大きく軽減することができる



# 自主防災組織の編成



## 具体的には何をする？！

### 地震発生から避難所までの地域活動



ひとつずつ詳しく見てみよう

# 地震発生！

## 身を守る行動をとる



しせいをひくく、あたまをまもり、じっとする。  
あなたをまもる行動です。

しせいをひくく

1



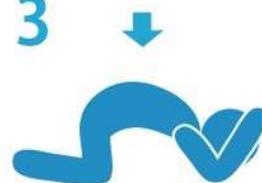
あたまをまもり

2



じっとする

3



# 地震発生から避難所までの地域活動

地震発生

揺れがおさまったら

更なる揺れに注意して

避難所では

● 落ち着いて身を守る

- 火の元を確認し出火していたら初期消火
- ドアや窓を開けて逃げ道を確保
- 家族の安全を確認
- 非常持出品を身近に準備

自助

- 現地本部の立ち上げ
- 安否確認
- 災害の情報収集及び伝達
- 消火活動
- 救出・救護活動
- 災害時要援護者等への対応
- 避難誘導

● 給食・給水活動

共助

(自主防災組織の活動)



自分の身は自分で守る！

# 地震がおさまったら

—まずは家のことから—



## 揺れがおさまったら①

### 火の始末は慌てずに

※大きな地震の場合は、やけどなどに気をつけ、揺れがおさまってから消す。



### 火がでたらすぐに初期消火

「火事だ!」と大声で叫び、隣近所にも協力を求める。消火器の備えや消火の訓練を怠らずに。



## 揺れがおさまったら②

### 戸を開け、まず出口の確保

マンションなどは出口が1つですので、火災に備え避難路を確保する。



### あわてて外にとび出すな

あわてて外に飛び出すと、瓦やガラスなどの落下によりかえって危険!



# 揺れがおさまったら③

## 家族の安全を確認



### 地震発生から避難所までの地域活動

地震発生

揺れがおさまったら

更なる揺れに注意して

避難所では

- 落ち着いて身を守る
- 火の元を確認し 出火していたら初期消火
- ドアや窓を開けて 逃げ道を確保
- 家族の安全を確認
- 非常持出品を身近に 準備

自助

- 現地本部の立ち上げ
- 安否確認
- 災害の情報収集及び伝達
- 消火活動
- 救出・救護活動
- 災害時要援護者等への対応
- 避難誘導

● 給食・給水活動

共助

(自主防災組織の活動)



自分たちのまちは自分たちで守る！

# 家のことが済んだら

—次はご近所のこと、地域のこと—



どこで?

**地震発生**

誰が?

火災が発生

倒壊建物の  
下敷き

消火活動

救助活動

応急手当



# 自主防災組織の



出番です!!

## 自主防災組織

### 現地本部の設置

—次はご近所のこと、地域のこと—

## 現地本部（一時集合場所）

町内(地域)の災害情報を集めて、  
対応を指示する等

**町内の災害対応の拠点**の  
役割をします。

あらかじめ決めておいた  
近くの公園などに設置します。

## 現地本部のイメージ



机があると  
情報の整理に  
とても便利です。

本部長(防災会長)、本部長補佐(副会長)が運営します